



第286号

2012年(平成24年)11月1日

大臨技ニュース

〒543-0018
大阪市天王寺区空清町 8-33
大阪府医師協同組合東館 4 階
TEL.06-6763-5652 FAX.06-6763-5653
社団法人 大阪府臨床検査技師会
発行責任者: 連天 政五郎
大臨技ホームページ URL
<http://www.osaka-amt.or.jp/>

府民公開講座

第4回 緊急検査部会

評価点

基礎教科-20点(会員証をお持ちください)

※評価点=日臨技生涯教育点数

急速な高齢化が進むなかで病気の傾向が変わり、生活習慣病が増え続ける傾向にあります。脳卒中は死亡率こそ減少傾向をとっていますが、高い率に後遺症が残るため要介護疾患の1位を占めるという現状です。

今回、「脳卒中をわかりやすく」をテーマに予防策、治療法などのトピックスを府民・市民の皆さまを交えて学びたいと思います。

- 日時 平成24年11月17日(土) 14:30~16:30
- 会場 あべのメディックス 6階
- 参加費 無料
- 連絡先 大阪府立泉州救命救急センター 福田 篤久
Email: atsuhisa@sccmc.izumisano.osaka.jp
TEL: 072-464-9911 (内線9601)

Theme THE 脳卒中 ~予防策から治療法を解り易く~

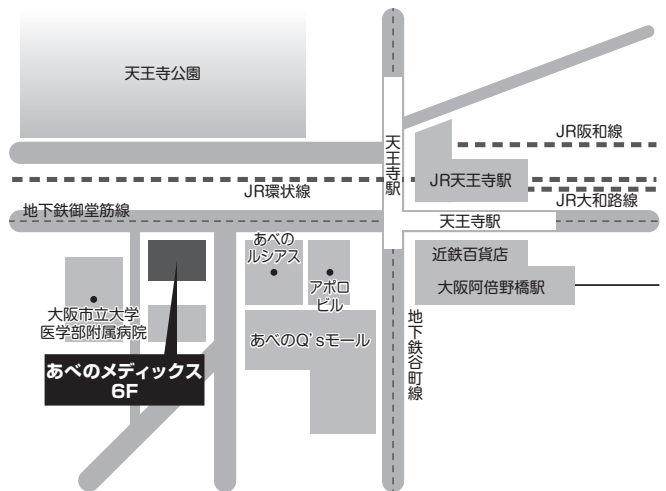
【教育講演】

1. 脳卒中对策 ~生理検査からのメッセージ~
講師: 大阪府済生会中津病院 検査技術科 山崎 正之
2. 脳卒中对策 ~血液検査で脳梗塞の危険性をさぐる~
講師: 天理医療大学医療学部 臨床検査学科 米田 孝司
3. 脳卒中对策 ~あなたの食生活見直してみませんか?~
講師: 大阪府三島救命救急センター 栄養科 瀬崎 広美

【特別講演】

NO(脳)卒中の予防と治療

八尾市立病院 脳神経外科部長 都築 貴



平成24年度(通算第40回)

大阪府医師会 臨床検査精度管理調査について (大阪府医師会よりのご案内とお願い)

大阪府医師会では、府内医療機関ならびに衛生検査施設等の検査精度の向上と臨床検査の標準化を目的に、新鮮血を使用するなど、特徴を持った臨床検査精度管理調査(外部精度管理調査)を昭和48年度より毎年実施しています。本年度調査につきましては、現在、その実施内容の最終的な調整を行っています。タイムスケジュールは以下のとおりです。

- ☆ 2012年11月上旬: 同調査への参加の可否を確認する「予備調査」実施
昨年度調査より、WEB回答方式を導入し、参加施設の回答作業の負担軽減ならびに結果報告のスピード化に努めております。
- ☆ 2013年1月上旬: 検査試料を調査参加施設に送付
- ☆ 2013年2月: 集計・解析開始
- ☆ 2013年3月下旬: 精度管理調査検討会を開催
本調査実施の趣旨をご理解いただき、より多くの施設がご参加くださいますよう、ご案内を兼ね、お願い申し上げます。

詳しくは、大阪府医師会・学術課(06-6763-7006)までお問合せください。

他職種公開講座 輸血検査症例検討会

学術部 輸血検査部門からのお知らせ

評価点

専門教科-20点(会員証をお持ちください)

※評価点=日臨技生涯教育点数

「こんな時はどうしたらいいのだろうか？」と悩ましい時、ありませんか？
それぞれの症例についてまず症例提示の説明後、グループごとにディスカッションを行なったのち、解説をします。
今回は初級・中級向けの3症例の検討を予定しています。
日常業務で対応に難渋する症例の解決の参考にさせていただければと思います。皆様の参加をお待ちしております。

日時

平成24年11月10日(土) 14:00~17:00

会場

大阪府赤十字血液センター 7階 研修室

参加費

会員 500円、非会員 3,000円

連絡先

大阪府済生会中津病院 検査技術科 深田 恵利奈

Email: yuketu-osaka@mail.goo.ne.jp

【内容】

症例1 カラム凝集法で「??」となった症例

講師: 大阪市立大学医学部附属病院 輸血部

藤野 恵三

症例2 「ABO血液型おもてうら不一致の症例」

講師: 大阪大学医学部附属病院 輸血部 清川 知子

症例3 「血小板輸血で副作用が起こった症例」

講師: 近畿大学医学部附属病院 輸血部 藤田 往子

他職種公開講座 微生物検査部門 定期講習会

学術部 微生物検査部門 からのお知らせ

評価点

専門教科-20点(会員証をお持ちください)

※評価点=日臨技生涯教育点数

日々進化する細菌に対し、検査室もその進化に対応する必要があります。
特に薬剤耐性菌は、院内感染対策上も重要であり、場合によってはマスコミで報道されるという事態にまで発展します。
院内における様々な微生物の監視役でもある検査室としてこれらを見逃すわけにはいきません。
そこで、薬剤耐性菌に対する日々の疑問・難問を一問一答形式で解説したいと思います。
また、下記 E.mail でも質問等受け付けます。当日に回答します。みなさんふるってご参加ください。



薬剤耐性菌、一問一答! ~日常の疑問、大募集~

講師: 部会世話人

日時

平成24年11月27日(火) 18:30~20:00

会場

大阪医療技術学園専門学校 2階

(〒530-0044 大阪市北区東天満 2-1-30)

参加費

500円 (非会員の方は別途資料代として500円が必要です)

連絡先

関西医科大学附属枚方病院 中村 竜也

Email: nakamurt@hirakata.kmu.ac.jp

他職種公開講座 第9回 内視鏡検査部会

情報組織部 チーム医療部門 からのお知らせ

評価点

基礎教科-20点(会員証をお持ちください)

※評価点=日臨技生涯教育点数

第8回に引き続き大阪産業創造館で行います。

日時

平成24年11月30日(金) 18:30~20:30

会場

大阪産業創造館 6階 会議室E

参加費

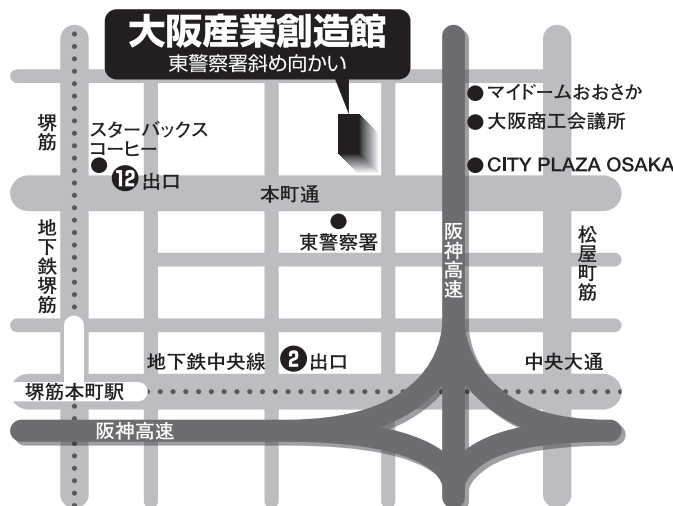
500円 (非会員の方は別途資料代として500円が必要です)

連絡先

大阪労災病院 出野 憲由

Email: et-iden@orh.go.jp

TEL: 072-252-3561 院内PHS(4258)



内容 大臨技ホームページにてお知らせします。

他職種公開講座

糖尿病療養指導部会 定例勉強会



評価点

基礎教科-20点 (会員証をお持ちください)

※評価点=日臨技生涯教育点数

内容

1. 大阪労災病院での糖尿病教室の取組み
講師：大阪労災病院 中央検査部 平原 道雄
2. 症例を通して学ぶ糖尿病知識のあれこれ
講師：ふくだ内科クリニック 横山 有子



日時

平成24年12月12日(水) 18:30~20:00

会場

大阪鉄道病院 3階講堂
(JR天王寺駅、地下鉄御堂筋線・谷町線天王寺駅、
近鉄阿部野橋駅徒歩5分)
会場の入口で臨床検査技師会会員証の提示の協力をお願いします。

時間

18:30~20:00

参加費

会員500円 (非会員は別途資料代として500円が必要です)

連絡先

ふくだ内科クリニック 横山 有子
Email: ar-ykym@mua.biglobe.ne.jp

糖尿病療養指導士認定のための更新単位
(臨床検査技師のみ 1群) : 0.5 単位

(CDE)の方で認定機構発行の「学会・研修会出席証明書」
の必要な方は各自持参して参加証明印をもらってください。

他職種公開講座

臨床化学検査部門 講演会

学術部 臨床化学検査部門 からお知らせ

評価点

専門教科-20点 (会員証をお持ちください)

※評価点=日臨技生涯教育点数

Theme 「新規項目導入へのステップ～生化学自動分析装置での院内測定」

今回は、病院の検査室で新たに院内測定にする項目
を導入するきっかけからその後の試薬ランニングや評
価の良否の根拠となる話しをしていただきます。
皆様、ふるってご参加ください。

1. 一知っておきたい! 自動分析装置の担当者として—
講師: 健康保険組合連合会 大阪中央病院 中央検査部
坂東 雅彦
2. 一知っておきたい! 試薬ランニングの内容とその評価—
講師: 株式会社シノテスト 応用技術部 応用技術チーム
チームリーダー 木本 純也

日 時 平成24年11月8日(木) 18:30~20:00
会 場 大阪市立大学医学部 4階小講義室1
定 員 200名(先着順)

参 加 費 500円(非会員の方は別途資料代として500円必要です)
連 絡 先 大阪市立大学医学部附属病院 石田 繁則
E-mail: shigei@med.osaka-cu.ac.jp

Report 1

平成24年度 第1回 献血推進活動 報告

去る 8月25日(土)、難波グリーンガーデン(難波駅北
側すぐ)周辺にて市民の皆様へ献血へのご協力の呼びかけを
行いました。

今年の夏は、献血活動史上最高の気温 39℃ 中での活
動になりましたが、献血車(グリーンガーデン)・献血ルーム
(まいどなんば)あわせて、多くの市民の皆様へ献血して
いただくことができました。本当にありがとうございました。
次回は平成25年2月に実施いたします。

公益活動である献血推進活動、これからも多数のご参加を
よろしくお願い申し上げます。

大臨技 渉外部(多根総合病院 中央検査部) 北川 篤

当日データ 気温39℃

【難波グリーンガーデン】				
400ml	受付数	61名	採血数	48名
【まいどなんば献血ルーム】				
400ml	受付数	90名	採血数	66名
200ml	受付数	6名	採血数	4名
成分献血	受付数	25名	採血数	25名
合計	受付数	182名	採血数	143名

献血活動へのご参加ありがとうございました。

小西医療器株式会社/株式会社カインス

大阪医療技術学園専門学校の学生さんに
ボランティア活動参加証明書 進呈いたしました。

献血推進運動をすることで少しでも多くの方が足を止め、献血にご協力
していただいたことがすごくうれしかったです。

大久保 綾香(写真右)

コメント

たくさんの方がティッシュを受け取ってくれました。私達の活動で
少しでも多くの方が献血興味を持ち、協力してくれたらと思います。

太田 美弥(写真左)



(財) 吹田市健康推進事業団主催

2012年9月8日(土)9日(日)

健康展参加人数:3072名、検査体験者数:1792名、ボランティア数:37名



吹田市「みんなの健康展」実行委員として

白鷺病院 前田 富士子

「第29回みんなの健康展」(吹田市健康づくり推進事業団主催)が、9月8日(土)・9日(日)に開催され、今年も多くの市民が大臨技の検査体験コーナー(血管年齢、頸動脈エコー、骨密度)にいられました。

私が実行委員を担当してわずか4年ですが、毎年来られる数の方の顔を覚えています。こちらから、「今年も来てくださってありがとうございます!」と声を掛けると、「覚えてくれていたの?」と、嬉しそうな笑顔が返ってきます。ボランティアに参加して下さる技師も同じです。「今年もありがとう! 久しぶりやね、どうして?」と同窓会のような感じです。初参加の技師は緊張していますが、そのうち雰囲気になじんできます。いつもとは違う技師と市民のやり取り、「ココでしか味わえない」雰囲気なんです。

とはいえ、今年の初日の賑わいは例年にない忙しさで、慣れているはずの我々も面食らってしまいました。人、人、人で周りが見えない有様です。整理券を配布する事で検査を待つ人の長蛇の列はなくなりましたが、整理券を受け取る為の列ができました。それも何とか解消して周りを見渡せば、着々と検査体験が進んでいました。毎年感じるのですが、「技師さんの笑顔は、最高!」です。

健康展には20団体が参加しているので、出し物は様々です。今年の休憩時間は、吹田母子会のコーナーで花のブローチを手作りし、大阪府鍼灸師会のコーナーでは性格診断と小児針体験をしました。その他、映画会、講演会、救急講習会など、盛りだくさんの内容です。

健康展終了後の交流会は、ボランティア後の楽しみの一つです。ひと仕事終了後の一杯が、これまた最高!です。世代を超えて和気あいあいと盛り上がりました。こうして出会った仲間や知人が増えていくことは嬉しいことです。

4年間を振り返って、「楽しかった!」と思える健康展でした。少しばかりの困難や、苦労はあったかもしれませんが、自分が描いた目標「市民も楽しむ、技師も楽しむ!」に向かって取り組みました。多くの支えと、協力して下さった皆様のおかげです。たくさんの良い出会いをありがとうございました。

吹田市の健康展は大阪府が誇る健康展です。ぜひ一度参加して、「感じて!」ください。これからも臨床検査技師の社会参加がさらに発展できることを願っています。お疲れ様でした。

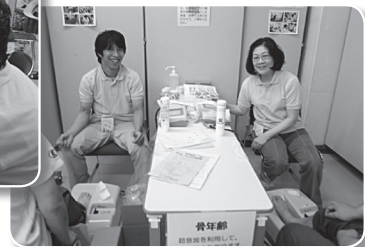
吹田市「みんなの健康展」実行委員後記

市立吹田市民病院 松本 典久

9月8日(土)9日(日)に吹田市で「第29回みんなの健康展」が開催され、大臨技が担当する検査体験コーナーでは、血管年齢、頸動脈エコー、骨密度、身長・体重測定を行いました。

検査体験コーナーは、毎年多くの市民の方が来られる健康展でも人気コーナーの1つとなっています。今年も混雑することが予想されたため、スタッフの集合時間を早めるなど準備万端で臨んだのですが、開始直前には大勢の市民の方が整理券を求めて並ばれ、スタッフも圧倒されるほどの勢いでした。開始とともに多くの来場者で賑わい、息をつく暇がないほどの忙しさでしたが、市民の方の「ありがとう」と「笑顔」がスタッフにとっての元気の源となり、楽しみながら運営することができました。終日、人が途切れることのない検査体験コーナーですが、ボランティアの皆さんをはじめ、多くの方々の協力を得て、今年も大盛況のうちに終えることができました。この場をお借りしてお礼申し上げます。本当にありがとうございました。

今年度をもって、全体の取りまとめ役としてご尽力いただきました前田さんが実行委員を辞められることになりました。3年間いっしょに実行委員をさせていただきましたが、企画・運営を通して多くのことを学ばせていただきました。今後も、市民の方だけでなく技師も参加してよかったなと思える魅力ある健康展になるように取り組んでいきたいと思っております。4年間本当にお疲れ様でした。来年はボランティアでの参加をお待ちしています。



吹田市「みんなの健康展」に参加して

おがわクリニック 竹内 早苗

9月8日・9日に開催された吹田市で行われた第29回みんなの健康展にボランティアとして初参加いたしました。とはいっても私は2日目のみの参加だったのですが、初参加で任務が務まるだろうかと緊張していましたがあまりの大盛況ぶりに圧倒されてしまいそれどころでは無くなってしまいました。(初日はもっとすごかったそうです…) 気軽に検査を受けられるということもあるでしょうが、お子様からお年寄りの方までたくさんの方にご来場いただき、市民の皆さんの医療に対する関心の高さを改めて知りました。私は骨密度測定を担当しましたが、市民の方々から「どこへ行けばこんな検査を受けられるのか」「どんな対処法をすればいいのか」「他の骨密度検査法との違いは何か」や、はたまた骨密度検査とは関係のない検査のことまで、ご質問を受けました。みなさん機会に恵まれなかったり言い出す勇気がないそうで、たくさん疑問を持ちながら医療機関に通っているのだなと感じました。良好な結果だと喜ぶ方もいれば肩を落とされる方、反応は様々でしたが「ありがとう」と言って席を立たれる方がほとんどでとても清々しい気持ちになりました。

健康展後の交流会では、ボランティア中にはご挨拶しかできなかった諸先輩方とお話ができ、疑問や悩みも聞いてくださいました。まだまだ無知な私の話に嫌な顔をせず耳を傾けてくださり、いつかは私も皆さんのように頼もしい技師になりたいと思えました。

知識力も人間力も学ぶことがたくさんありました。

大変大変、声を出し過ぎて喉が痛い痛い、と言いながら諸先輩方と笑い合えたことはとても良い思い出になりました。本当に勉強になるだけでなく楽しい1日を過ごすことができました。ありがとうございました。

吹田市「みんなの健康展」に参加して

市立吹田市民病院 井澤 仁美

今年も開催されました「吹田みんなの健康展」!!

職場の上司に誘われたのがきっかけで何度か参加させていただいていますが、今回は2年ぶりの参加となりました。今年の臨床検査技師会の検査体験は血管年齢・頸動脈エコー・骨密度測定です。ちなみに私は頸動脈エコーの担当でした。始まりとともに検査コーナーの受付に押し寄せた人波。思わず身構える私。あとはただひたすら笑顔（ひきつっていなかったことを祈ります…）で乗り切るのみ。整理券のおかげで大きな混乱もなく多くの方に体験していただきました。例年のことですが健康展に来られる人の数には驚かされます。また「動脈硬化ってどうやったらわかるの?」「私は大丈夫?」「何科に行ったら診てもらえるの?」など検査に関する質問が多く、市民の皆さんの健康への関心の高さを感じました。一部の来場者の方からは「今年は肺活量の検査はないの?」と残念そうに聞かれたそうで、こういった検査体験を楽しみに来られていると思うと嬉しいものです。

健康展のボランティアは忙しいだけではありません。休憩時間には体力測定や性格診断など他のブースを見て回り参加することができます。中には「入れ歯の名前入れのコーナー」なんていうものもあり、ちょっと…いえ、かなり興味をそられてしまいました。

実行委員の方々には事前準備や当日のスケジュール、進行に至るまでいろいろと配慮していただきありがとうございました。多くの来場者の方と接することができ楽しく有意義な時間を過ごすことができました。この疲れも吹き飛ばす充実感を求めてまた来年も参加してしまいそうです。



VOICE

臨床検査技師教育機関からの声

「臨地実習を終えて」

今年度我校での臨地実習は4月9日から8月3日の4カ月間で31施設にて終了いたしました。

各実習先施設の先生方には、お忙しい中学生へのご指導を賜りましたことを深く御礼申し上げます。

臨地実習が始まる前の学生たちは、不安を抱き、どこか自信なさげに映っていました。しかしながら、臨地実習を終了した学生たちは知識や技術を得るとともに、社会の場を体験することにより自信に満ち溢れた表情になりました。言葉ひとつにしても相手の立場に立ち、話をするが増えたように感じられます。

実習期間中はすべてが上手くいかないと泣く学生や、学校とは違った環境でコミュニケーションを上手く取れずに悩む学生もいました。しかし、その壁を乗り越えられたことは今後社会人として、また臨床検査技師として、かけがえのない経験になったことでしょう。実習前から比べるとひとまわりもふたまわりも大きくなり、まるで、別人のように感じます。現在は国家試験、

そして就職に向け必死になっているところです。

臨床検査技師の質を向上させるためには卒前教育が、重要になります。学内での指導では、知識や基本的技術を身につけさせることは勿論ですが、挨拶や身嗜み、相手の立場に立てる思いやりといった心温かい学生を育てていく必要があります。これからも養成校である我々は全力で学生指導に取り組んで参ります。今後も卒前教育の一環である臨地実習では先生方のお力をお借りしなければなりません。そのため、養成校と各施設が連携を取り、これからの臨床検査技師界を担う学生たちによりよい実習をさせたいと思います。今後ご迷惑をおかけすることがあると思いますが、より一層のご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

日本医療学院専門学校 三年担任 米良 友宏

大臨技理事会報告 Executive board report

【平成24年度 大臨技第6回理事会(9月13日開催) 決定事項】

1. 日臨技と日臨技連盟のあり方について

- ① 臨床検査の業務拡大推進を目的とした日臨技連盟への加入促進のため、大臨技ニュースならびに大臨技ホームページへ「大臨技から報告とお願い」を掲載する。
- ② 日臨技連盟加入者が自身で加入の有無を確認できるよう、日臨技連盟から大阪府の加入者名簿を受け取り、加入者に対し掲載可否の確認後、大臨技ホームページに大阪府の加入者名簿を掲載する。

2. 大臨技の共催事業における参加者名簿の取り扱いについて

大臨技の共催事業において、共催する団体から参加者名簿の提出を希望された際の対応として 個人情報流出防止のため、参加者名簿は参加者数の把握のみに限定して使用する旨の誓約書を大臨技側で作成し、共催団体からの当誓約書提出により参加者名簿を提出する。

大臨技事務局より 会員の方へお知らせ

日臨技生涯研修対象行事の参加登録方法は、参加された方個人が行っていただくことになりました。

日臨技生涯教育研修対象行事の参加登録方法(参加された方用)

- ① <http://www.jamt.or.jp/>にアクセス
- ② 日臨技【日臨技 HP】→【ログイン】
- ③ 【生涯教育】を選択
- ④ 行事番号とパスワードを入力
- ⑤ 【参加登録】

詳細は大臨技ホームページ

■ 大臨技事業における受付方法について(重要) 2012年~を参照してください。

→ 世話人用には下記資料を掲載しています。

- ・ 行事登録マニュアル
- ・ 大臨技行事参加者リスト
- ・ 大臨技賛助会員リスト
- ・ 参加費の取り決め

【注意】 参加登録は、必ず、開催後1ヵ月以内に行ってください!!
(それ以降は、登録できなくなります)

平成24年度 会費 施設、転入・転出・移動および転居届出は大臨技ホームページ「入会案内」のページを参照してください。

1.	大臨技「継続会員」納入金額	
	大臨技年会費	5,000円
2.	大臨技「新入会」および「再入会」納入金額	
	大臨技新入会費・再入会費	2,000円
	大臨技年会費	5,000円
		計 7,000円

- ▶ 所定の郵便振込用紙は大臨技事務局にご請求ください。
- ▶ 日臨技入会希望者は別途日臨技へ入会申請してください。
- ▶ 施設、転入・転出・異動および転居の際は日臨技事務局にもご連絡ください。
特に転居については、送付先を自宅にされている場合、メール便を使用したニュース、会報等がお届けできませんのでご注意ください。

大臨技ホームページへの日本臨床検査技師連盟加入者名簿の掲載に伴う掲載諾否について

臨床検査の業務拡大推進を目的とした日本臨床検査技師連盟(以下、連盟)への加入をお願いするため、大臨技ニュース平成24年10月号ならびに大臨技ホームページに、「大臨技からの報告とお願い」を掲載しましたが、連盟加入者が自身により加入の有無を確認できるように、大臨技ホームページの「日本臨床検査技師連盟」欄に、大阪府の連盟加入者名簿を掲載することになりました。

つきましては、連盟加入者名簿に掲載を希望されない方は、平成24年11月26日(月)までに、下記連絡先まで連絡くださるようお願い申し上げます。なお、上記不掲載の連絡をされない方につきましては、掲載に同意をいただいているものとさせていただきます。

連盟加入者名簿に掲載を希望されない場合の連絡先

(社)大阪府臨床検査技師会 事務局 電話 06-6763-5652

近畿臨床検査技師会の発展的解消について(お知らせ)

近畿臨床検査技師会 会長 富永 博夫

前日臨技執行体制では、近臨技が行っていた学術活動や近畿医学検査学会運営に対して理解を得るために、再三申し出を行いましたが近臨技の意向に沿う回答を得ることができませんでした。技師会に会員が求めるものは活発な学術活動組織です。

近臨技は昨年12月1日の日臨技関西支部の発足に合わせて、従来の近臨技を解消して「新近臨技」を発足させました。「新近臨技」の設立は、近畿7府県技師会の結束と学術活動の維持、学会の3団体同時開催の存続を目的としてきました。

日臨技は今年4月、日臨技会長選挙において新しい執行体制が発足し、学術活動の活性、都道府県技師会との

組織強化、職能団体としての渉外活動の強化等が図られる組織に生まれ変わりました。このことで、近畿地区内で「新近臨技」が目的としていた学術活動等の事項が叶うこととなります。従いまして、現「新近臨技」をこの2年以内に発展的解消をし、日臨技関西支部として一本化を図るようにしたいと考えています。今後、日臨技関西支部として、近畿地区内で培われた「和」を大切に、斬新な発想の基に行われてきた諸活動を存続するための支部組織運営を行っていただきます。

皆様方におかれましては、これらの状況をご理解いただき、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

近臨技と日臨技関西支部の状況についてお知らせします。

- 新近臨技の組織、運営は7府県技師会の会長、事務局長、学術部長の21名で構成。資金は府県からの拠出金(会員数×300円)平成24年度から拠出金は免除。
- 支部の組織、運営は7府県技師会の代表者の7名で構成。支部長は代表幹事。資金は支部活動費、研修会補助金、学会補助金等。近畿7府県の研修会に関しては従来どおりの会員参加費となります。

皆様のご意見、情報等お待ちしております。

FAX:06-6763-5653 E-mail:webmaster@osaka-amt.or.jp

郵送の場合は大臨技事務局までご送付ください。

平成24年12月号の原稿メ切は**11月5日(月)**、平成25年1月号は**11月30日(金)**です。